

教科名	理 科	科目名	生物（3年次）【4単位】	
授業形態	講義および実験			
選んでほしい生徒	生物基礎を履修した生徒で、生物に対する知識をさらに深めたいと思っている生徒。また、医療系、農学系の大学及び専門学校への進学を希望している生徒			
科目の目標	生物や生物現象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力や態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生物基礎で学んだ知識や経験をもとに、「生物基礎」との関連を考慮しながら、生物学の基本的な概念の形成を図る。</li> <li>2 生物学的に探究する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成すること。</li> </ol>			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 細胞と分子</li> <li>2 代謝</li> <li>3 遺伝情報の発現</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 生殖と発生</li> <li>4 動物の反応と行動</li> <li>5 植物の環境応答</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 生物群集と生態系</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体を構成する物質及び、生命の基本単位である細胞の微細構造、細胞小器官のはたらきについて学習する。</li> <li>・呼吸と光合成のしくみについて身近な生命現象と関連させながら学習する。</li> <li>・DNAの二重らせん構造および、遺伝情報の発現の仕方について学習する。</li> <li>・ウニ、カエル、被子植物の生殖と発生について学習し、発生のしくみを理解する。</li> <li>・受容器、効果器、神経系について学習し、動物の反応、行動を理解する。</li> <li>・植物の環境応答、環境と生物との関係性について学習する。</li> </ul>	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生物現象に疑問を持ち、自ら調べ探究する意欲や普段の学習態度、取り組む姿勢等を総合的に評価する。</li> <li>・提出物・課題の提出状況についても評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題やレポート、実験ノートから、思考力及び表現力を評価する。</li> <li>・定期考査の記述問題思考問題から思考力、判断力を評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察時の手際の良さ、スケッチ、後片付け、班員との連携や着眼点等を総合的に評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、課題、単元テスト等を利用して総合的に評価する。</li> </ul>
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、実験・観察のレポート及び課題等の提出物を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実験・観察に対する姿勢が重視されます。興味・関心を持って実験・観察を行い、レポートをきちんと記録して提出することが求められます。</li> <li>2 常に身の回りの自然現象に関心を持ち、筋道を立てて考えることができるよう心がけよう。</li> </ol>			
教材費	補助教材 約1,600円（問題集、資料集等）			
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 何かの検定につながるようなことはありません。</li> <li>2 大学受験のために学習する場合は、相談に来てください</li> </ol>			